

# 転職活動に関するアンケート結果

## TOPICS

「賃金」「仕事」「時間」の優先順位  
「仕事>時間>賃金」が20.9%、「仕事>賃金>時間」が19.7%  
「時間」の優先順位が高いのはパートまたはアルバイト

株式会社アイDEM  
東日本事業本部 データリサーチチーム

## 調査名

- ▶【イーアイデム会員限定】応募後の転職活動に関するアンケート

## 調査目的

- ▶現在の求職者の状況を把握し、今後のサービス向上につなげるため

## 調査対象

- ▶総合求人サイト「イーアイデム」の会員で、下記調査期間の90日前にイーアイデムから何らかの求人に応募した人

## 調査期間

- ▶2021/09/02～2022/12/28

## 調査方法

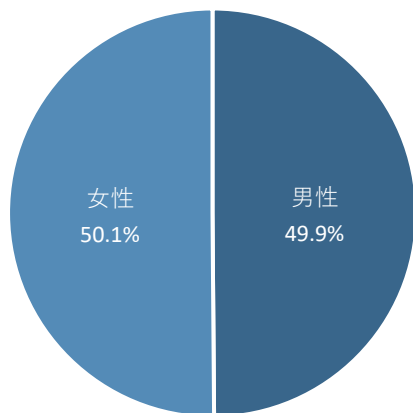
- ▶インターネットリサーチ

## 有効回答数

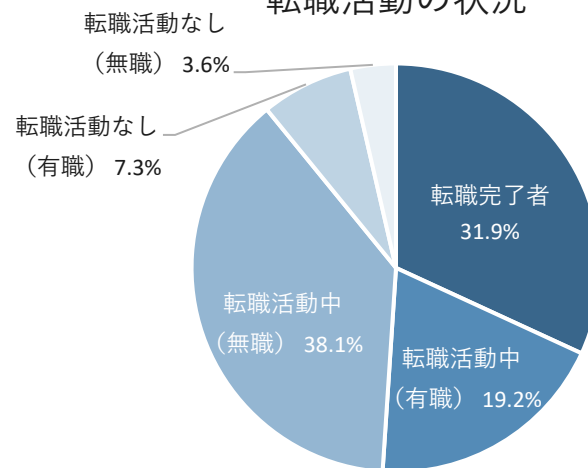
- ▶1,211件

※調査結果は四捨五入のために合計が100%にならない場合があります

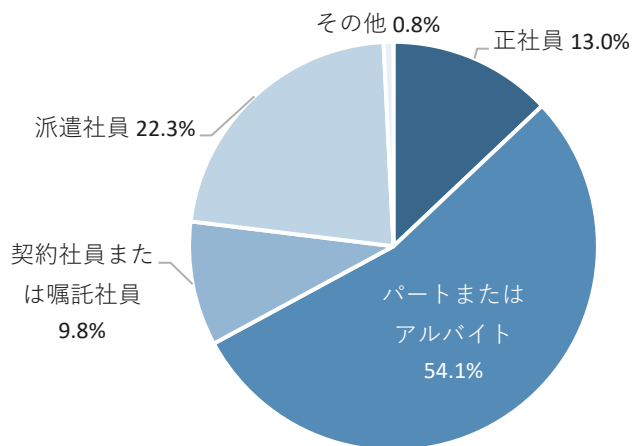
## 性別



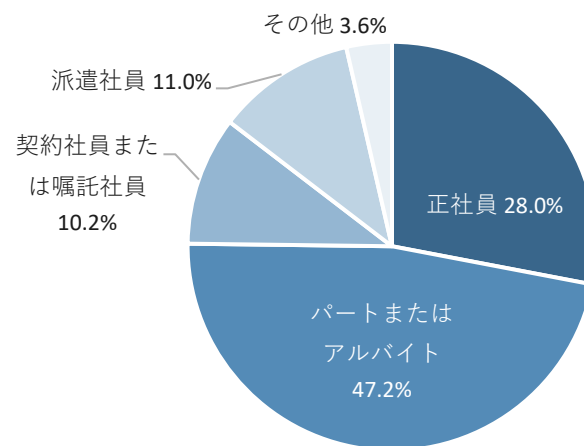
## 転職活動の状況



## 転職完了者の現在の雇用形態



## 転職活動中の回答者の希望雇用形態



※転職完了者：3か月以内に転職した回答者

現在の勤務先に3か月以内に転職した人及び現在転職活動をしている人に、今回の転職活動において求人企業に応募した社数を聞いた。全体では、「2社～5社」が最も多く37.7%、次いで「11社～30社」が19.2%、「6社～10社」が18.9%、「1社」が12.7%、「31社以上」が11.5%となった。

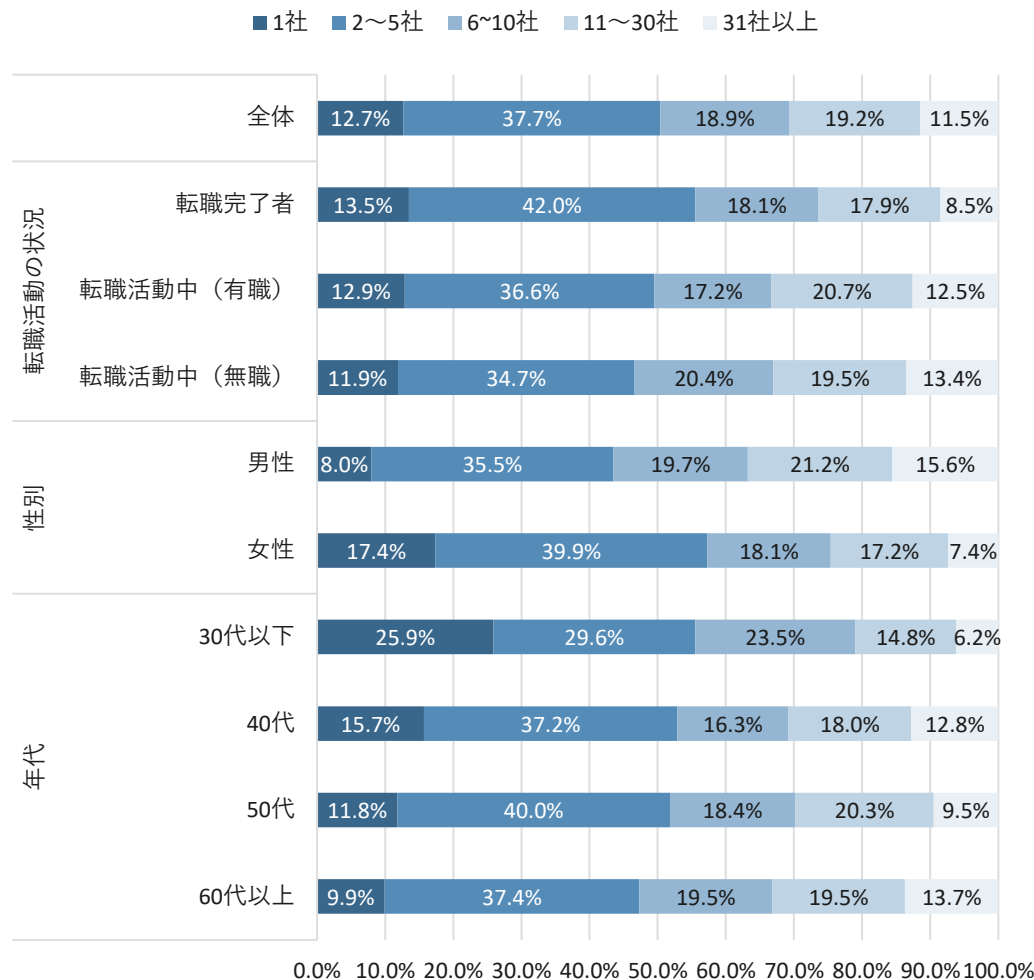
応募した社数を「5社」で区切ってみると、「5社以下」と「6社以上」がそれぞれ約半数である。「1社」以外と回答した割合は約9割となり、多くの人が多社応募で就職活動をしている。

転職活動の状況別でみると、無職で転職活動中の人は「6社以上」が53.3%となっており、転職が完了した人と有職で転職活動中の人と比べると応募した社数は若干多くなっていた。

性別でみると、「6社以上」は男性が56.5%、女性が42.7%となり、男性の方が女性より応募社数は多くなっている。

年代別でみると、「6社以上」は30代以下が44.5%、40代が47.1%、50代が48.2%、60代以上が52.7%となり、年代が上がるほど応募社数が増える傾向にあった。

## 求人企業に応募した社数

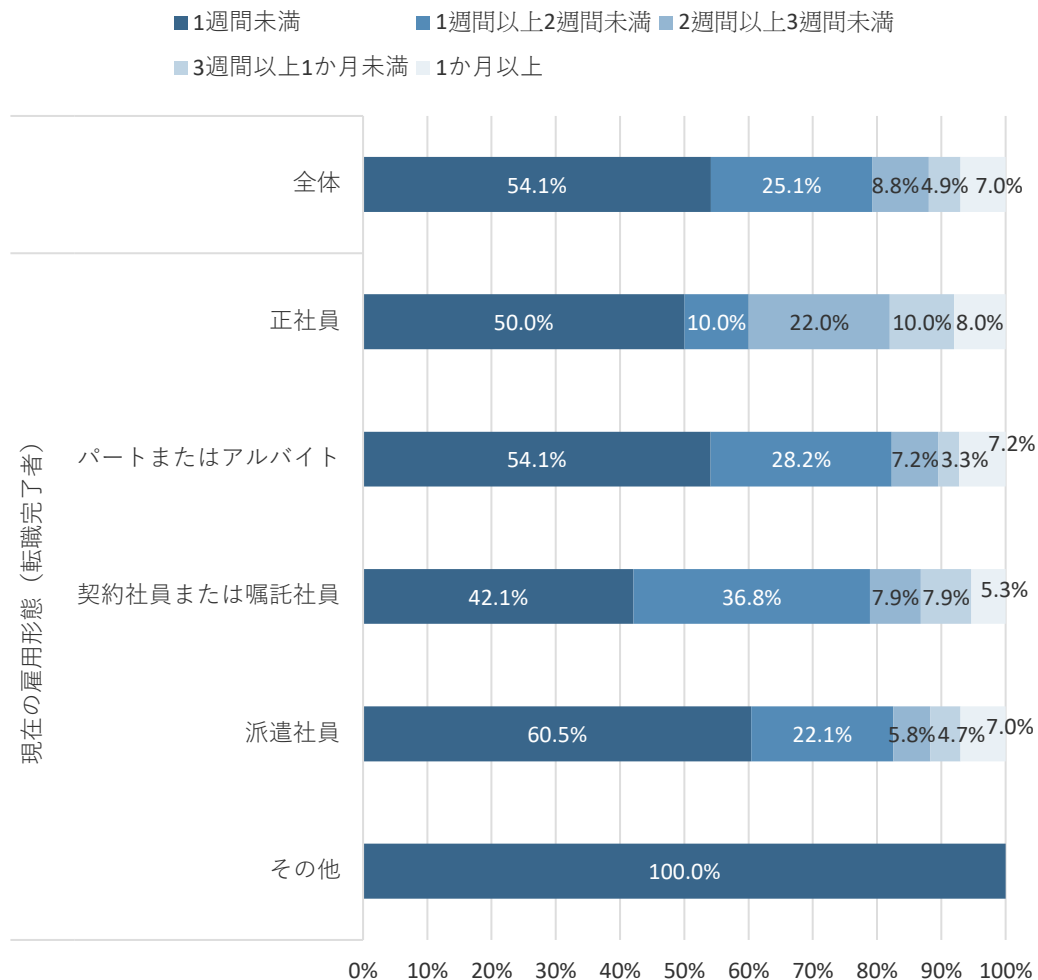


現在の勤務先に3か月以内に転職した人に、応募してからどれくらいの期間で内定が出たかを聞いた。全体では、「1週間未満」が最も多く54.1%、次いで「1週間以上2週間未満」が25.1%、「2週間以上3週間未満」が8.8%、「3週間以上1か月未満」が4.9%、「1か月以上」が7.0%となった。

現在の雇用形態別にみると、応募から内定までの期間が「1週間未満」だった者が多い雇用形態（その他を除く）は、派遣社員が60.5%、パートまたはアルバイトが54.1%、正社員が50.0%、契約社員または嘱託社員が42.1%の順となっている。

2週間未満で区切ってみると、2週間未満で内定が出た雇用形態（その他を除く）は、派遣社員が82.6%、パートまたはアルバイトが82.3%と8割を超えている。他の雇用形態に比べて、より迅速な採用活動が行われているようだ。

## 応募から内定までの期間



# 転職活動で利用している情報媒体や方法（活動中の回答者）

現在転職活動をしている人に、転職活動で利用している情報媒体や方法を聞いた（複数回答）。回答が最も多かったのは「仕事探し系のアプリ」で51.7%、次いで「ハローワーク」が45.7%、「検索サイトで希望の条件を検索」が39.7%、「民間の求人サイト」が36.4%、「求人情報誌（フリーペーパー等）」が26.1%、「新聞折込求人広告」が24.0%の順になっている。また就労状況別では、働いている人も働いていない人も「仕事探し系のアプリ」の回答が53.4%、50.8%とそれぞれ最も多かったが、働いている人では「検索サイトで希望の条件を検索（42.2%）」、働いていない人は「ハローワーク（47.7%）」がそれぞれ次点となっていた。

希望雇用形態別にみると、正社員への転職では「ハローワーク（58.8%）」、パートまたはアルバイトへの転職では「仕事探し系のアプリ（55.0%）」の利用がそれぞれ最も多くなっている。

性別でみると、男性は「ハローワーク（50.7%）」、女性は「仕事探し系のアプリ（54.8%）」がそれぞれ最も多くなった。

年代別では、30代以下、40代、50代とも「仕事探し系アプリ」が最も多くなり、それぞれ61.1%、51.1%、56.7%となった。また、40代では「ハローワーク（51.1%）」も1位に並んでいる。一方、60代以上は「ハローワーク（47.2%）」の利用が最も多くなっていたものの、「仕事探し系のアプリ（46.3%）」も拮抗しており、高齢者の仕事探しにおいてもスマホなどの携帯端末の利用が進んでいることがうかがえる。

(%)

	仕事探し系のアプリ	ハローワーク	検索サイトで希望の条件を検索	民間の求人サイト	求人情報誌（フリーペーパー等）	新聞折込求人広告	民間の職業紹介会社	新聞の求人欄	個別企業のホームページ	友人・知人の紹介	店頭の求人ポスター	SNS(FacebookやTwitterなど)	その他	
全体	51.7	45.7	39.7	36.4	26.1	24.0	14.3	8.1	6.8	5.3	5.2	4.6	4.6	
就労状況	働いている	53.4	41.8	42.2	38.8	23.3	25.0	15.1	9.5	7.8	6.5	6.9	4.7	4.3
	働いていない	50.8	47.7	38.4	35.1	27.5	23.4	13.9	7.4	6.3	4.8	4.3	4.6	4.8
希望雇用形態	正社員	55.2	58.8	37.1	37.6	29.4	20.1	19.6	8.8	8.8	4.1	3.6	4.6	1.5
	パートまたはアルバイト	55.0	39.4	39.4	35.2	25.4	27.8	11.0	7.6	5.2	5.2	7.0	5.8	7.3
	契約社員または嘱託社員	39.4	57.7	38.0	40.8	26.8	23.9	7.0	7.0	5.6	7.0	2.8	2.8	1.4
	派遣社員	40.8	30.3	43.4	30.3	23.7	15.8	18.4	9.2	7.9	2.6	5.3	1.3	1.3
	その他	48.0	40.0	56.0	48.0	16.0	28.0	24.0	8.0	12.0	20.0	0.0	4.0	12.0
性別	男性	48.8	50.7	36.0	39.9	25.5	23.0	15.2	10.0	6.4	5.5	4.7	3.9	4.4
	女性	54.8	40.4	43.7	32.5	26.8	25.0	13.3	6.0	7.2	5.1	5.7	5.4	4.8
年代	30代以下	61.1	48.1	37.0	25.9	18.5	13.0	7.4	1.9	5.6	7.4	7.4	9.3	3.7
	40代	51.1	51.1	43.5	32.6	29.3	15.2	15.2	3.3	8.7	3.3	4.3	6.5	3.3
	50代	56.7	41.2	43.7	37.8	30.3	22.7	15.5	8.0	8.0	5.0	4.6	5.9	2.5
	60代以上	46.3	47.2	35.9	38.2	23.3	29.4	14.2	10.7	5.5	5.8	5.5	2.3	6.8

# 転職活動で利用している最も有効な情報媒体や方法（活動中の回答者）

現在転職活動をしている人に、転職活動で利用している情報媒体や方法の中で最も有効なものを聞いた。回答が最も多かったのは「仕事探し系のアプリ」で28.3%、次いで「検索サイトで希望の条件を検索」が19.6%、「民間の求人サイト」と「ハローワーク」が並び16.3%の順になっている。また就労状況別にみても、「仕事探し系のアプリ」が最も多くなっていた。

希望雇用形態別にみると、派遣社員とその他以外は「仕事探し系のアプリ」の利用がそれぞれ最も多くなっている。

性別でみると、男性、女性ともに「仕事探し系のアプリ」がそれぞれ最も多く、男性より女性の方が2.9pt高くなっている。

年代別でも、すべての年代で「仕事探し系のアプリ」が最も多くなっており、30代は37.0%、40代は30.4%、50代は31.5%、60代以上は23.6%と、ほぼ年代が若いほど有効な情報媒体や方法と感じているようだ。

(%)

	仕事探し系のアプリ	検索サイトで希望の条件を検索	民間の求人サイト	ハローワーク	求人情報誌（フリーペーパー等）	新聞折込求人広告	民間の職業紹介会社	友人・知人の紹介	SNS(FacebookやTwitterなど)	個別企業のホームページ	新聞の求人欄	店頭の求人ポスター	その他	
全体	28.3	19.6	16.3	16.3	5.3	5.2	3.3	1.4	1.3	0.9	0.7	0.1	1.2	
就労状況	働いている	30.2	20.7	18.5	11.6	6.0	4.7	3.0	1.7	0.9	0.9	0.9	0.0	0.9
	働いていない	27.3	19.1	15.2	18.7	5.0	5.4	3.5	1.3	1.5	0.9	0.7	0.2	1.3
希望雇用形態	正社員	26.3	16.5	19.6	22.2	4.6	3.6	4.1	1.5	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0
	パートまたはアルバイト	30.9	19.0	13.8	15.0	6.1	7.0	2.4	0.3	1.8	0.6	0.9	0.3	1.8
	契約社員または嘱託社員	22.5	16.9	19.7	21.1	5.6	7.0	1.4	2.8	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0
	派遣社員	31.6	32.9	11.8	6.6	5.3	1.3	6.6	0.0	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3
	その他	16.0	20.0	28.0	4.0	0.0	0.0	4.0	16.0	0.0	4.0	4.0	0.0	4.0
性別	男性	26.9	17.5	19.1	17.2	5.3	3.9	3.0	2.8	1.1	0.8	0.8	0.0	1.7
	女性	29.8	22.0	13.3	15.4	5.4	6.6	3.6	0.0	1.5	0.9	0.6	0.3	0.6
年代	30代以下	37.0	18.5	14.8	16.7	5.6	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	40代	30.4	26.1	15.2	17.4	4.3	1.1	3.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	1.1
	50代	31.5	18.9	14.7	14.7	6.3	5.5	3.8	0.8	1.7	1.3	0.8	0.0	0.0
	60代以上	23.6	18.4	18.1	17.2	4.9	7.1	3.6	1.9	0.6	1.0	1.0	0.3	2.3

# 転職活動で利用した情報媒体や方法（転職完了者）

現在の勤務先に3か月以内に転職した人に、その転職活動で利用した情報媒体や方法を聞いた（複数回答）。回答が最も多かったのは「仕事探し系のアプリ」で33.2%、次いで「検索サイトで希望の条件を検索」が29.0%、「民間の求人サイト」が28.8%、「ハローワーク」が20.5%、「新聞折込求人広告」が16.1%、「求人情報誌（フリーペーパー等）」が11.9%の順になっている。

これを現在の雇用形態別にみると、すべての雇用形態で「仕事探し系のアプリ」の利用が最も多くなっている。なお、契約社員または嘱託社員では「民間の求人サイト」が、派遣社員とその他では「検索サイトで希望の条件を検索」が同率で並んでいた。

性別でも、「仕事探し系のアプリ」が最も多くなっている。

年代別にみると、50代を除き「仕事探し系のアプリ」の利用が最も多く、40代が38.8%、30代以下が37.0%と利用率は比較的若い世代で若干高い結果になった。50代では「検索サイトで希望の条件を検索」が、34.5%と最も多くなっている。

(%)

	仕事探し系のアプリ	検索サイトで希望の条件を検索	民間の求人サイト	ハローワーク	新聞折込求人広告	求人情報誌（フリーペーパー等）	民間の職業紹介会社	友人・知人の紹介	個別企業のホームページ	新聞の求人欄	店頭の求人ポスター	SNS(FacebookやTwitterなど)	その他	
全体	33.2	29.0	28.8	20.5	16.1	11.9	5.2	4.9	4.1	3.1	2.3	2.3	5.4	
現在の雇用形態	正社員	36.0	26.0	30.0	22.0	14.0	14.0	6.0	6.0	2.0	0.0	2.0	4.0	4.0
	パートまたはアルバイト	32.1	27.3	31.6	24.9	20.1	13.9	2.9	3.8	5.3	1.9	2.9	1.9	2.9
	契約社員または嘱託社員	34.2	31.6	34.2	15.8	15.8	13.2	2.6	5.3	2.6	10.5	5.3	2.6	10.5
	派遣社員	32.6	32.6	18.6	11.6	7.0	4.7	10.5	7.0	2.3	3.5	0.0	2.3	10.5
	その他	66.7	66.7	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
性別	男性	32.2	25.4	30.5	24.3	15.3	14.1	4.0	6.2	2.8	2.8	0.0	4.0	4.5
	女性	34.0	32.1	27.3	17.2	16.7	10.0	6.2	3.8	5.3	3.3	4.3	1.0	6.2
年代	30代以下	37.0	22.2	18.5	11.1	18.5	18.5	3.7	11.1	0.0	3.7	3.7	3.7	14.8
	40代	38.8	30.0	30.0	23.8	17.5	12.5	5.0	2.5	6.3	3.8	5.0	1.3	1.3
	50代	33.8	34.5	32.4	16.2	14.8	12.7	7.0	4.9	5.6	3.5	2.8	2.1	4.2
	60代以上	28.5	24.1	26.3	24.8	16.1	9.5	3.6	5.1	2.2	2.2	0.0	2.9	7.3



# 転職活動で利用した最も有効な情報媒体や方法（転職完了者）



現在の勤務先に3か月以内に転職した人に、その転職活動で利用した情報媒体や方法の中で最も有効なものを聞いた。回答が最も多かったのは「仕事探し系のアプリ」で23.6%、次いで「検索サイトで希望の条件を検索」と「民間の求人サイト」が18.4%で並び、「ハローワーク」が10.1%、「新聞折込求人広告」が8.5%、「求人情報誌（フリーペーパー等）」が4.7%の順になっている。

これを現在の雇用形態別にみると、正社員として転職した人は「検索サイトで希望の条件を検索」が22.0%と最も多く、契約社員または嘱託社員として転職した人では「民間の求人サイト」が26.3%と最も多くなった。それ以外の雇用形態に転職した人は、「仕事探し系のアプリ」が第1位となっていた。

性別でみると、「仕事探し系のアプリ」との回答が最も多くなり、男性では21.5%、女性では25.4%となった。

年代別にみても、「仕事探し系のアプリ」との回答が最も多くなったが、40代では「検索サイトで希望の条件を検索」が同率で並んでいた。

(%)

	仕事探し系のアプリ	検索サイトで希望の条件を検索	民間の求人サイト	ハローワーク	新聞折込求人広告	求人情報誌（フリーペーパー等）	友人・知人の紹介	民間の職業紹介会社	個別企業のホームページ	SNS(FacebookやTwitterなど)	店頭の求人ポスター	新聞の求人欄	その他	
全体	23.6	18.4	18.4	10.1	8.5	4.7	3.6	3.4	2.1	1.8	0.8	0.5	4.1	
現在の雇用形態	正社員	20.0	22.0	20.0	12.0	6.0	8.0	6.0	2.0	0.0	2.0	2.0	0.0	0.0
	パートまたはアルバイト	23.4	16.3	19.1	12.4	11.5	5.3	2.4	1.4	2.9	1.4	1.0	0.5	2.4
	契約社員または嘱託社員	23.7	10.5	26.3	7.9	7.9	5.3	2.6	2.6	2.6	2.6	0.0	0.0	7.9
	派遣社員	25.6	24.4	12.8	4.7	2.3	1.2	5.8	9.3	1.2	2.3	0.0	1.2	9.3
	その他	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
性別	男性	21.5	14.1	20.9	13.0	7.9	7.3	5.1	2.3	1.7	3.4	0.0	0.0	2.8
	女性	25.4	22.0	16.3	7.7	9.1	2.4	2.4	4.3	2.4	0.5	1.4	1.0	5.3
年代	30代以下	25.9	11.1	11.1	3.7	14.8	7.4	7.4	3.7	0.0	3.7	3.7	3.7	3.7
	40代	23.8	23.8	18.8	11.3	7.5	2.5	1.3	3.8	2.5	1.3	1.3	1.3	1.3
	50代	26.8	21.1	21.1	4.2	6.3	4.2	3.5	4.2	2.8	1.4	0.7	0.0	3.5
	60代以上	19.7	13.9	16.8	16.8	10.2	5.8	4.4	2.2	1.5	2.2	0.0	0.0	6.6

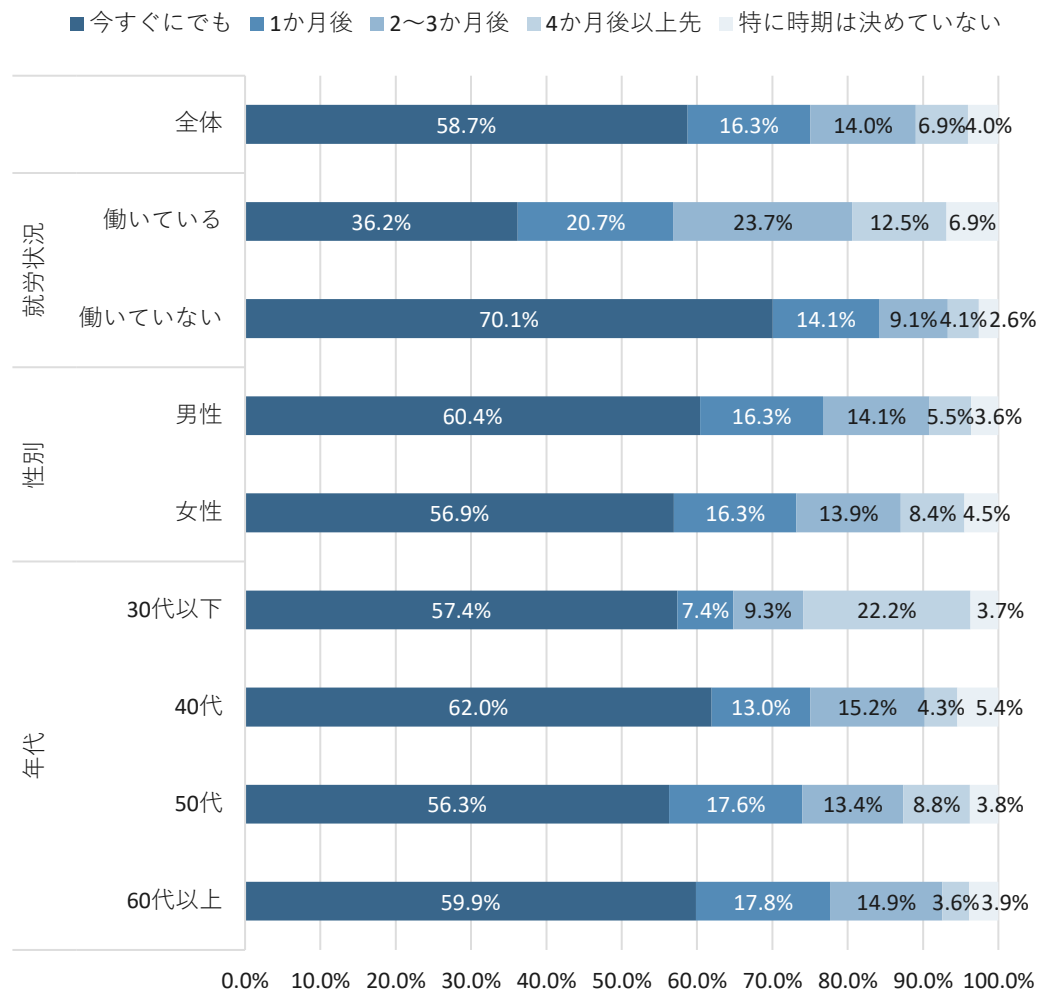
現在転職活動をしている人に、新たな就職先や転職先にいつ頃までに入社したいと考えているかを聞いた。全体では、「今すぐにでも」が最も多く58.7%、次いで「1か月後」が16.3%、「2~3か月後」が14.0%、「4か月後以上先」が6.9%、「特に時期は決めていない」が4.0%となった。

就労状況別にみると、「今すぐにでも」は働いていない人で70.1%、働いている人では36.2%となった。働いていない人の方が33.9pt高くなり、仕事探しの切迫感が感じられる結果となった。

性別でみると、「今すぐにでも」は男性で60.4%、女性で56.9%となり、男性の方が3.5pt高くなった。

年代別でみると、「今すぐにでも」は30代以下が57.4%、40代が62.0%、50代が56.3%、60代以上が59.9%となり、働き盛りの40代で若干割合が高い結果となった。

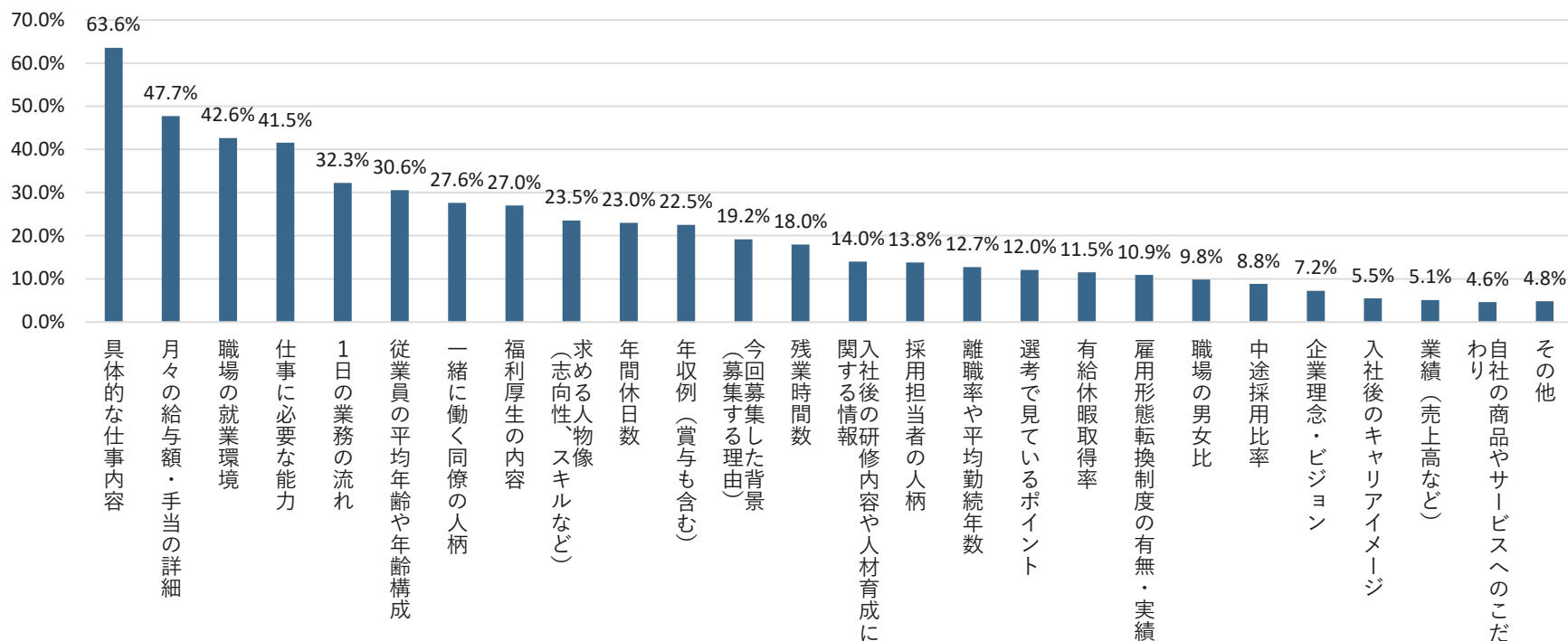
新たな就職先や転職先にいつ頃までに入社したいか



現在の勤務先に3か月以内に転職した人及び現在転職活動をしている人に、転職活動で応募企業を選ぶ・決める際に、より詳しく知りたいと思う求人情報はどのようなことかを聞いた（複数回答）。「具体的な仕事内容」が最も多く63.6%、「月々の給与額・手当の詳細」47.7%、「職場の就業環境」42.6%、「仕事に必要な能力」41.5%、「1日の業務の流れ」32.3%、「従業員の平均年齢や年齢構成」30.6%の順になっている。

6割強の人が「具体的な仕事内容」を詳しく知りたいと考えており、求人情報にはできる限りイメージが湧きやすい仕事内容を記載することが大切であると考えられる。また、「職場の就業環境」や「仕事に必要な能力」についての回答も4割を超えていることから、これらの情報も求人情報に記載するのが望ましいことがうかがえる。

## 応募企業を選ぶ際に詳しく知りたい求人情報



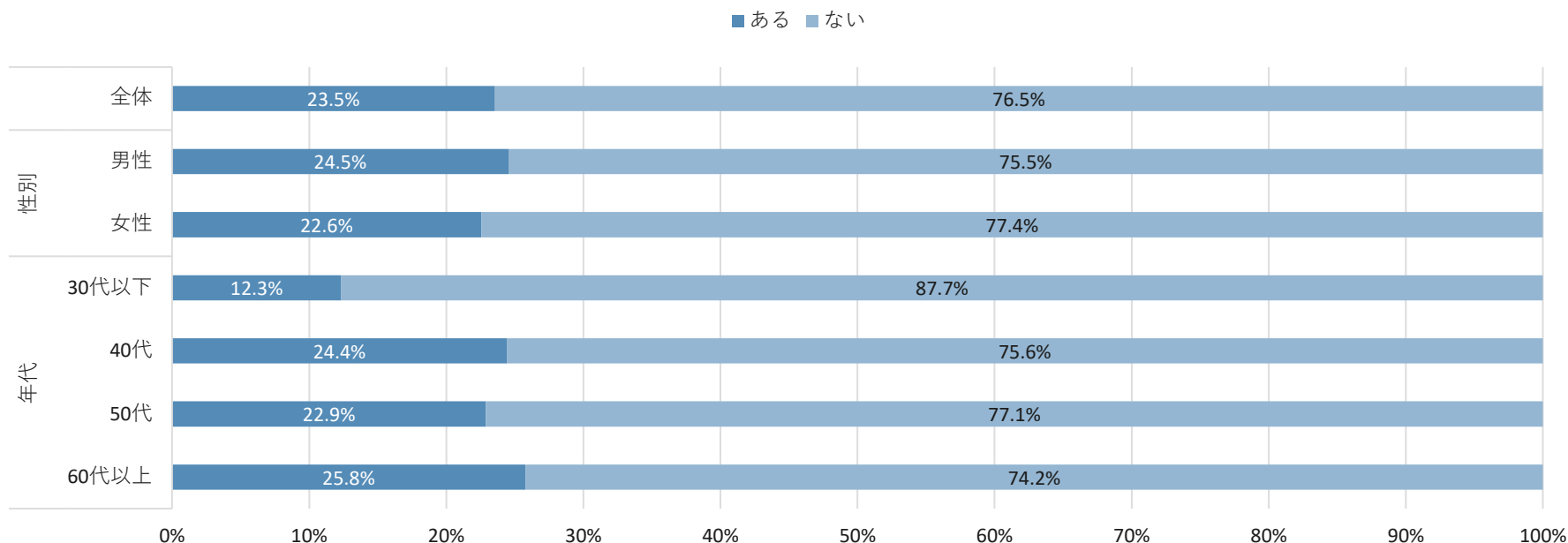
現在の勤務先に3か月以内に転職した人及び現在転職活動をしている人に、転職活動で、キャッチフレーズ、写真などを含めた求人情報に掲載されていた内容を見て、印象を悪くし応募しなかったことはあるかを聞いた。全体では、「ある」が23.5%、「ない」が76.5%となった。

年代別でみると、「ある」は30代以下で12.3%、40代で24.4%、50代で22.9%、60代以上で25.8%となっている。30代以下だけ他の年代と比べて12～13pt程度割合が低くなっていた。

## 【印象を悪くして応募しなかった求人募集の内容】

- 年齢不問とありながらも「20～30代活躍中」と書かれている場合、暗に年齢制限を設けているようで応募できない。そもそも年齢不問を記載しない方が好印象。
- 「30代の方が活躍されています」とキャッチフレーズがあり、30代じゃなければ採用されないのだなと思ひ応募を止めた。スタッフの集合写真が載っていたが、若い人で運営してますアピールが印象悪かった。
- 「応募が多く選考されない場合はお返事しません」という企業の上から目線。そんなところで働いてもパワハラがあるかもしれないと思った。
- 未経験歓迎とかいう謡い文句は、経験者をまず採用するという逆説的な言葉なので、応募を躊躇する。

求人情報を見て印象を悪くし応募しなかったことの有無



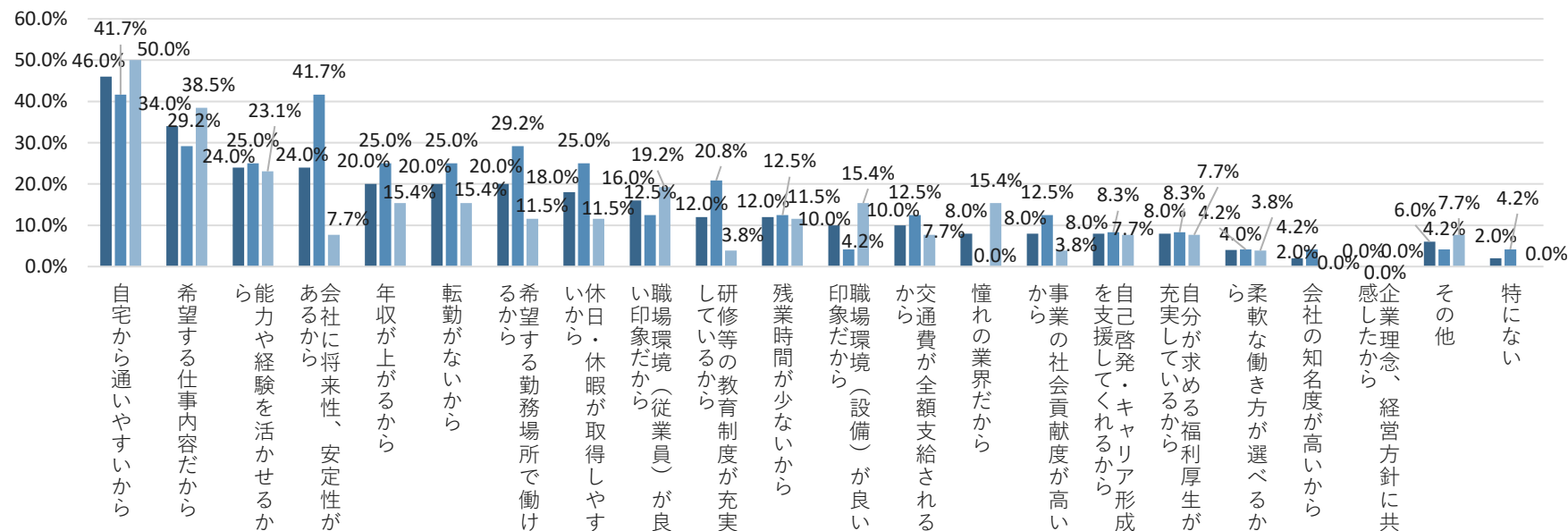
# 現在の会社に就職を決めた理由（転職完了者／正社員）

現在の勤務先に3か月以内に正社員として転職した人に、その勤務先に就職を決めた理由を聞いた（複数回答）。「自宅から通いやすいから」が最も多く46.0%、次いで「希望する仕事内容だから」が34.0%、「能力や経験を活かせるから」「会社に将来性、安定性があるから」がともに24.0%、「年収が上がるから」「転勤がないから」「希望する勤務場所で働けるから」がともに20.0%となった。

これを性別でみると、男性では「自宅から通いやすいから」「会社に将来性、安定性があるから」が41.7%、女性では「自宅から通いやすいから」が50.0%と、それぞれ最も多くなっている。男性と女性を比べて回答割合に大きな差が出た項目は、「会社に将来性、安定性があるから」が34.0pt、「希望する勤務場所で働けるから」が17.7pt、「研修等の教育制度が充実しているから」が17.0pt、「休日・休暇が取得しやすいから」が13.5ptと、男性の方が女性より10.0pt以上高くなっている。一方、「憧れの業界だから」が15.4pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が11.2ptと、女性の方が男性より割合が高くなっていた。

## 現在の会社に就職を決めた理由（転職完了者／正社員）

■ 正社員／計 ■ 正社員／男性 ■ 正社員／女性

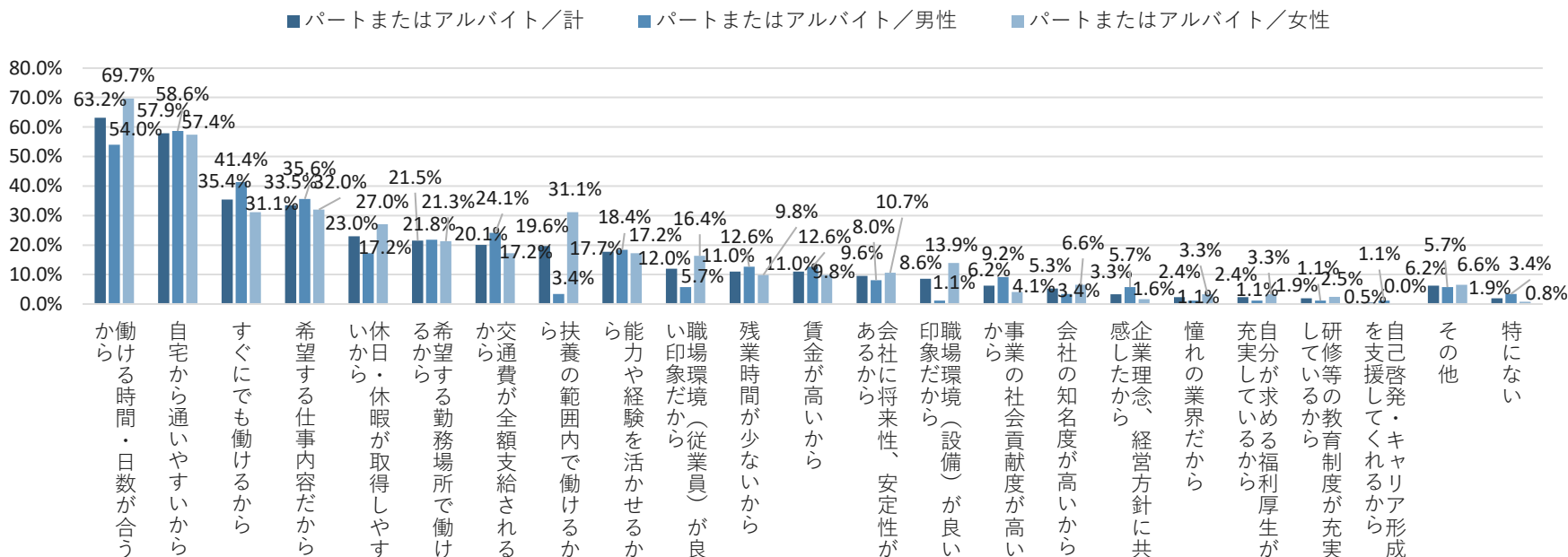


# 現在の会社に就職を決めた理由（転職完了者／パートまたはアルバイト）

現在の勤務先に3か月以内にパートまたはアルバイトとして転職した人に、その勤務先に就職を決めた理由を聞いた（複数回答）。「働ける時間・日数が合うから」が最も多く63.2%、次いで「自宅から通いやすいから」が57.9%、「すぐにでも働けるから」が35.4%、「希望する仕事内容だから」が33.5%、「休日・休暇が取得しやすいから」が23.0%となった。

これを性別でみると、男性では「自宅から通いやすいから」が最も多くなり58.6%、女性では「働ける時間・日数が合うから」が69.7%となっている。男性と女性を比べて回答割合に大きな差が出た項目は、「扶養の範囲内で働けるから」が27.7pt、「働ける時間・日数が合うから」が15.7pt、「職場環境（設備）が良い印象だから」が12.8pt、「職場環境（従業員）が良い印象だから」が10.7ptと、女性の方が男性より10.0pt以上高くなっている。一方、男性の方が女性より10.0pt以上高くなっている項目は、「すぐにでも働けるから（10.3pt）」となった。

## 現在の会社に就職を決めた理由（転職完了者／パートまたはアルバイト）



現在の勤務先に3か月以内に転職した人に、求人情報や入社前の説明から感じていたイメージと、入社後のイメージにギャップがあったかを聞いた。全体では「ある」が34.5%となり、リアリティショック経験者は3割を超えている。

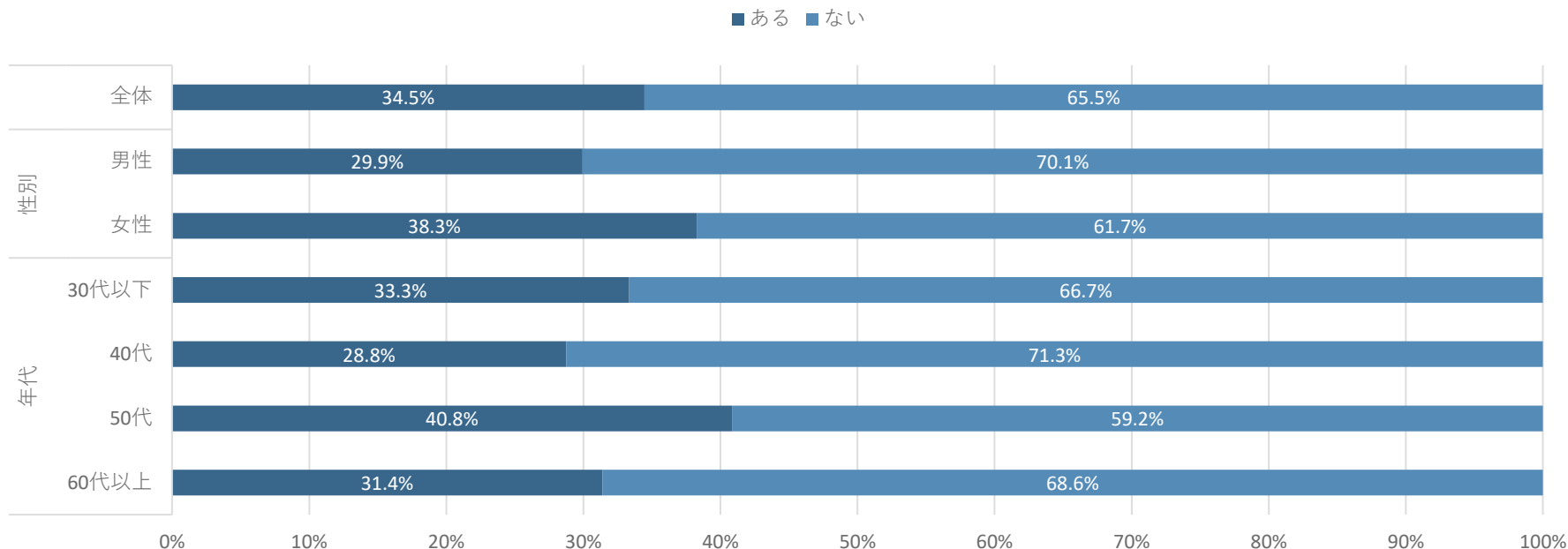
これを性別で見ると、「ある」は男性が29.9%、女性が38.3%と、女性の方が男性より8.4pt高くなっている。

また年代で見ると、「ある」は50代が40.8%と最も多く、次いで30代以下が33.3%、60代以上が31.4%、40代が28.8%の順となった。

## 【入社前と入社後のイメージのギャップ】

- 面接した方は支店長で1番上の役職だったが、その他の社員は事務員募集していることを知らず、入社してから驚かれた。同僚には迷惑がられ歓迎されず、とても居心地が悪い。
- 研修、OJTが丁寧かと思っていましたが、現場はバタバタで、ゆっくり教えてもらうのが難しい。
- 事前の説明で、軽作業で重いものでも10キロ程度だと聞いておりましたが、20キロ以上もある物を扱うことがあり、ハンドリフトでもかなりの力を要するパレットを引いたり、押したりで、女性ができる仕事ではないと思いました。
- 業務に関する基礎知識が思っていた以上に必要だった。実務上はサポートがあるので大きな支障もなく、苦勞しながらも楽しく働いている。

入社前と入社後のイメージのギャップ

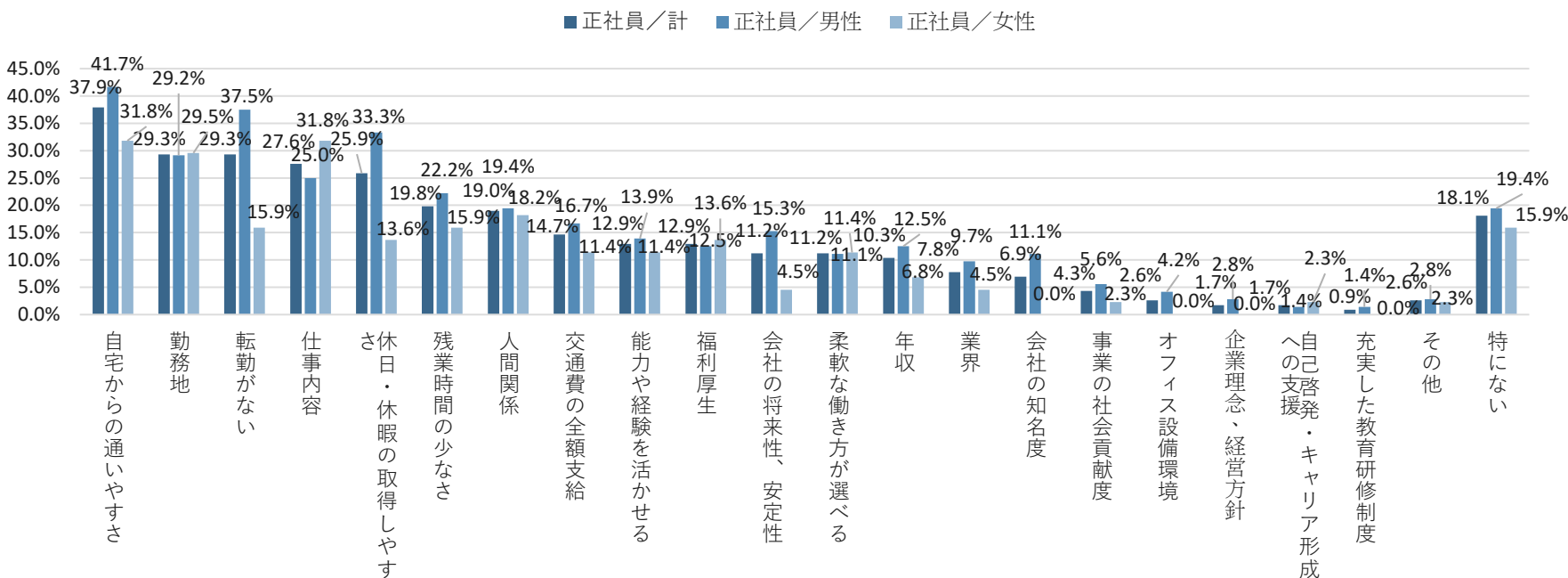


# 現在の会社に満足しているところ（正社員）

現在、正社員として就業している人（転職完了者を含む）に、現在の会社に満足しているところを聞いた（複数回答）。「自宅からの通いやすさ」が最も多く37.9%、次いで「勤務地」と「転勤がない」が並び29.3%、「仕事内容」が27.6%、「休日・休暇の取得しやすさ」が25.9%、「残業時間の少なさ」が19.8%、「人間関係」が19.0%となった。

これを性別でみると、男性では「自宅からの通いやすさ」が41.7%、女性では「自宅からの通いやすさ」と「仕事内容」が並び31.8%とそれぞれ最も多くなっている。男性と女性を比べて回答割合に大きな差が出た項目は、「転勤がない」が21.6pt、「休日・休暇の取得しやすさ」が19.7pt、「会社の知名度」が11.1pt、「会社の将来性、安定性」が10.8ptと、男性の方が女性より10.0pt以上高くなっている。一方、女性の方が男性より10.0pt以上高くなっている項目はなかった。

## 現在の会社に満足しているところ（正社員）



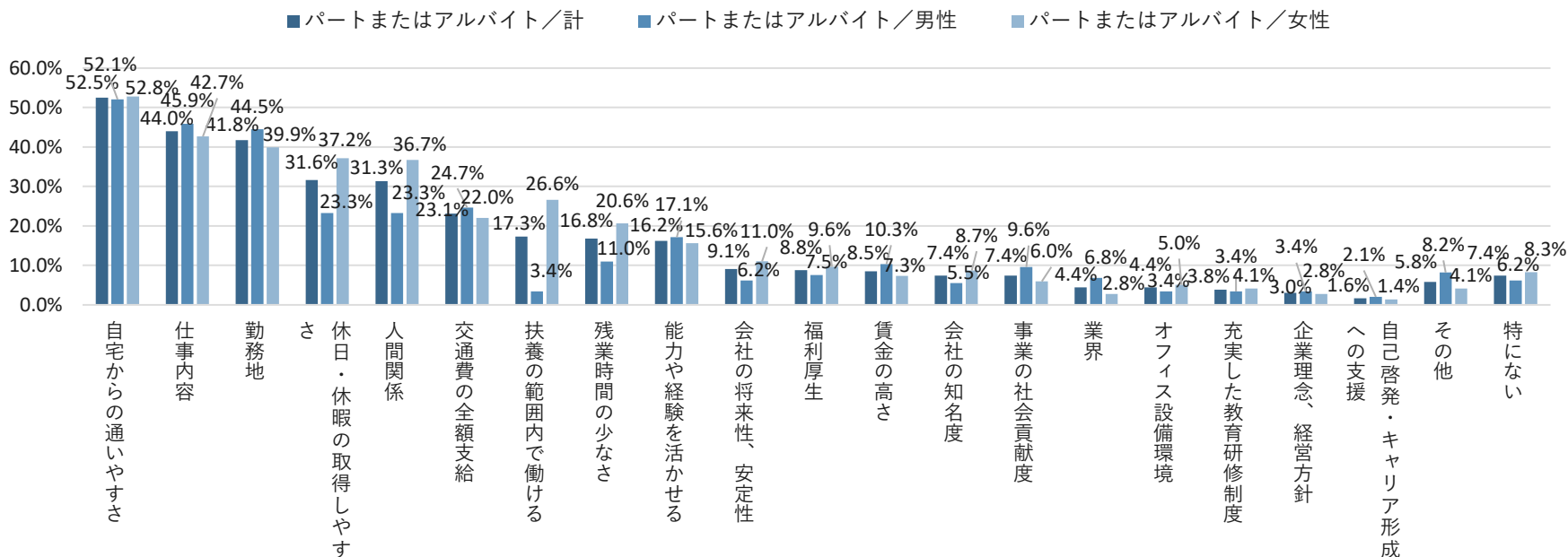


# 現在の会社に満足しているところ（パートまたはアルバイト）

現在、パートまたはアルバイトとして就業している人（転職完了者を含む）に、現在の会社に満足しているところを聞いた（複数回答）。「自宅からの通いやすさ」が最も多く52.5%、次いで「仕事内容」が44.0%、「勤務地」が41.8%、「休日・休暇の取得しやすさ」が31.6%、「人間関係」が31.3%、「交通費の全額支給」が23.1%、「扶養の範囲内で働ける」が17.3%となった。

これを性別でみると、男性、女性とも「自宅からの通いやすさ」が最も多くなり、それぞれ52.1%、52.8%である。男性と女性を比べて回答割合に大きな差が出た項目は、「扶養の範囲内で働ける」が23.2pt、「休日・休暇の取得のしやすさ」が13.9pt、「人間関係」が13.4ptと、女性の方が男性より10.0pt以上高くなっている。一方、男性の方が女性より10.0pt以上高くなっている項目はなかった。

## 現在の会社に満足しているところ（パートまたはアルバイト）



# 【賃金】 【仕事】 【時間】 の優先順位

無職者を含むすべての回答者に、働く上で仕事に見合った【賃金】、自分がやりたい【仕事】、希望通り働ける【時間】の3つがすべて満たされない場合に、【賃金】【仕事】【時間】の中でどのような優先順位をつけるのかを聞いた。全体では、「仕事>時間>賃金」が最も多く20.9%、次いで「仕事>賃金>時間」が19.7%、「時間>仕事>賃金」が17.8%、「賃金>時間>仕事」が16.0%、「賃金>仕事>時間」が14.7%、「時間>賃金>仕事」が10.9%の順となった。優先順位の1位を【仕事】と回答した人が4割強となっている。

就労状況別にみると、働いている人も働いていない人も「仕事>時間>賃金」が最も多くなり、それぞれ19.8%、22.4%となった。

性別では、男性は「仕事>時間>賃金」が最も多く24.2%、女性は「時間>仕事>賃金」が最も多く20.4%となっている。

年代別にみると、30代以下は「賃金>時間>仕事」が最も多く21.6%、40代と60代以上は「仕事>時間>賃金」が最も多く、それぞれ18.2%、26.9%となり、40代では「賃金>時間>仕事」も同率だった。また、50代は「仕事>賃金>時間」が最も多く20.7%である。【仕事】を優先順位の1位にしている割合を合算すると、30代以下は28.9%、40代は34.3%、50代は36.2%、60代以上は48.8%となり、年代が上がるほど【仕事】に重きを置いている結果となった。

(%)

		仕事>時間>賃金	仕事>賃金>時間	時間>仕事>賃金	賃金>時間>仕事	賃金>仕事>時間	時間>賃金>仕事
全体		20.9	19.7	17.8	16.0	14.7	10.9
就労状況	働いている	19.8	18.4	15.4	19.2	15.7	11.5
	働いていない	22.4	21.4	21.2	11.5	13.3	10.1
性別	男性	24.2	20.9	15.2	14.2	15.7	9.8
	女性	17.6	18.5	20.4	17.8	13.7	12.0
年代	30代以下	18.6	10.3	18.6	21.6	13.4	17.5
	40代	18.2	16.1	16.7	18.2	16.7	14.1
	50代	15.5	20.7	17.6	19.3	17.1	9.8
	60代以上	26.9	21.9	18.3	11.4	12.2	9.4

# 【賃金】 【仕事】 【時間】 の優先順位（転職活動中の回答者）



働く上で仕事に見合った【賃金】、自分がやりたい【仕事】、希望通り働ける【時間】の3つがすべて満たされない場合に、【賃金】【仕事】【時間】の中でどのような優先順位をつけるのかを、現在転職活動をしている人に絞って集計した。全体では、「仕事>時間>賃金」が最も多く21.4%、次いで「仕事>賃金>時間」が20.5%、「時間>仕事>賃金」が17.3%、「賃金>時間>仕事」が14.7%、「賃金>仕事>時間」が14.6%、「時間>賃金>仕事」が11.5%の順となった。優先順位の1位を【仕事】と回答した人が4割強となっている。

希望する雇用形態別にみると、正社員と契約社員または嘱託社員は「仕事>賃金>時間」が最も多くなり、それぞれ23.7%、31.0%となった。派遣社員とその他は「仕事>時間>賃金」が最も多くなり、それぞれ25.0%、28.0%となった。パートまたはアルバイトは「時間>仕事>賃金」が最も多くなり22.9%となった。なお、【時間】を優先順位の1位にしている割合を合算すると、パートまたはアルバイトは37.0%となり、次点の正社員23.7%と比べると13.3pt割合が高くなっている。パートまたはアルバイトが現在の会社に就職を決めた理由の第1位が「働ける時間・日数が合うから」となっていることから、【時間】の優先順位が非常に高いことがうかがえる。

(%)

		仕事>時間>賃金	仕事>賃金>時間	時間>仕事>賃金	賃金>時間>仕事	賃金>仕事>時間	時間>賃金>仕事
全体		21.4	20.5	17.3	14.7	14.6	11.5
希望雇用形態	正社員	16.0	23.7	12.9	18.0	18.6	10.8
	パートまたは アルバイト	22.6	16.5	22.9	11.3	12.5	14.1
	契約社員または 嘱託社員	23.9	31.0	11.3	14.1	9.9	9.9
	派遣社員	25.0	18.4	13.2	18.4	18.4	6.6
	その他	28.0	24.0	8.0	24.0	12.0	4.0